

自宅の本棚の片隅には、『子どもの発達と感覚統合』『感覚統合と学習障害』の2冊の本がずっとたたずんでいる。この特集にあたり、何年振りかで本棚から手に取ってみた。中を開くと、日に焼け、黄ばみがある。ところどころに意味不明な書き込みもあった。裏表紙には、購入した日付と名前が書かれている。日付から、養成校の1年生のころであることがわかる。学生時代、感覚統合療法のクリニックが学校の施設内で開かれ、発達障害領域に関心のある学生がボランティアで参加し、教授らの指導を受けることができた。参加にあたり、教授から薦められたのが前述の2冊の本を読んで勉強することであった。少ない時間ながらも、学生の間に臨床体験をできたのは貴重であった。しかしながら、経験がない分、その療法を学ぶにつれ、その理論で解釈すれば、どんな子どもにも応用できるのではないかという錯覚にも陥った。

卒業後、病院にて発達障害児の作業療法に従事したが、感覚統合療法を実際に

行う機会がなかった。ただ、作業療法を行ううえで、その理論や解釈は有効に活用していた。自分自身の作業療法の基盤の一つとなっていたかもしれない。その後2つの衝撃的な

できごとがあった。1つは、1989年のAJOT誌でA. Jean Ayres氏の訃報を知ったこと。もう1つは、Ayres没後20年以上も経ってから、米国小児科学会から感覚統合療法に関するpolicy statementが出されたことであった。自分の作業療法の成り立ちそのものを揺さ振られた思いを2度味わった。

われわれ作業療法士が対応する多くの発達障害に対して、さまざまな治療方法や療法が存在している。それぞれがその効果を示す必要は当然であるが、それを使用する現場の作業療法士がその方法の適用を誤らないことが大切だということを、その時あらためて感じさせられた。これからも作業療法は、その成果を示し続ける必要があるのだと思う。ただ、現在、自閉症スペクトラム障害等のいわゆる発達障害児に対する作業療法が確立されているのは、感覚統合療法による作業療法の実践の歴史が大きな礎になっていることは間違いないと思う。

(西出 康晴)



編集後記

編集顧問

上田 敏 鈴木 明子 寺山久美子

編集委員

江藤 文夫 香山 明美 竹内さをり 長野 敏宏
中村 春基 西出 康晴 山本 伸一

編集同人

朝田 隆	浅野 朝秋	石原 茂和	宇田 薫
内山 量史	沖田 啓子	片岡 聡子	鴨下 賢一
川本愛一郎	岸本 光夫	窪田 静	近藤 国嗣
斉藤 秀之	櫻井 卓郎	澤田 辰徳	柴田八衣子
島崎 寛将	関本 充史	高島 千敬	高橋香代子
竹中佐江子	田中 栄一	田平 隆行	辻 哲也
豊田 章宏	白鳥 智子	二神 雅一	堀田 聡子
松田 雅弘	松本 琢磨	松元 義彦	三浦 晃
宮崎 宏興	宮本 礼子	棟近 展行	村井 千賀
山根 寛	吉川ひろみ	和田 直樹	渡辺 誠

(五十音順)

作業療法ジャーナル VOL.58 NO.6 (June)

2024年6月15日発行 (毎月1回15日発行)

定価 2,200 円 (本体 2,000 円 + 税 10%)

年ぎめ予約購読料 30,800 円 (28,000 円 + 税 10%)

(送料弊社負担, 増刊号含む)

発行 株式会社 三輪書店

代表者 青山 智

〒113-0033 東京都文京区本郷 6-17-9 本郷網ビル

代表 ☎ 03-3816-7796 FAX 03-3816-7756

URL <http://www.miwapubl.com/>

郵便振替 00180-0-255208

(担当: 高野, 森山)

Email otj@miwapubl.com

印刷所 三報社印刷(株) ☎ 03-3637-0005

広告申込所 (株)文京メディカル ☎ 03-3817-8036

本誌の内容の無断複写・複製・転載は、著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。

Published by MIWA-SHOTEN Ltd.

6-17-9 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo, © 2024, Printed in Japan

JCOPY 〈出版者著作権管理機構 委託出版物〉

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。